

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第31号 (令和6年10月4日)

全国・岡山県学力・学習状況調査の結果

4月18日に実施しました全国・岡山県学力・学習状況調査(3~6年児童対象)の結果を10月3日に返却しました。それぞれの学年の詳しい結果や学校で分析した強み・弱み、担任が考える対策等は、当該学年の保護者の方に学級懇談でお伝えしています。この学校だよりでは、本校の各学年の傾向を簡単にお知らせします。(3~6年生の保護者の方にお伝えした内容と重複する部分があります)

◎学力調査の結果【☆・※は県平均(6年生のみ全国も)との比較、○は強み、△は弱みです】

【6年生】 (全国)

- 【国語】☆学級平均正答率は、全国・県平均を
○漢字や言葉など、基本的な学習事項について、確実に答えられる。
△複数の情報を見比べながら考えたり、整理したりすることが苦手である。
- 【算数】☆学級平均正答率は、全国・県平均を
○計算、図形などの基本的な学習内容は理解できていて、正しく答えられる。
△理由を分かりやすく(式や図を使って)説明することが苦手である。
- ※無回答率は、全国・県平均と比べ、

【5年生】 (岡山県)

- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均を
○漢字が正しく書けている。 ○物語の内容の読み取り
△連体修飾語 △時間配分(終盤の無回答率が高い)
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を
○整数・分数・帯分数 ○図の読み取り
△作図 △筋道を立てた説明(論理的思考)
- ※どちらの教科も4年次の結果と比べ、
※無回答率は、どちらの教科も県平均と比べ、

【4年生】 (岡山県)

- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均を
○既習事項の理解度
△示された条件(段落・文字数・理由など)に合わせて書くのが苦手。
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を
○基本的な計算
△グラフ・時間・重さ △時間配分(終盤の問題の無回答率が高い)
- ※無回答率は、どちらの教科も県平均と比べ、

【3年生】 (岡山県)

- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均を
○漢字の読み ○物語の読み取り
△指定された長さで自分の考えを書くこと △時間配分(終盤の無回答率が高い)
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を
○図形や立体 ○時刻
△二桁のたし算・引き算 △九九の定着と活用
- ※無回答率はどちらの教科も県平均と比べ、

◎学習状況調査の結果【5・6年生のみ実施】

5・6年生共通の傾向

- 落ち着いた生活が送れている。
- 学習したことを生活に役立てようとする児童が多い。
- 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、工夫しようとする児童が多い。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っているが、家庭での約束はない児童が多い。

調査結果は児童の学力や生活の状況の一部ではありますが、実態を把握する上で貴重な資料です。これらと日常の様子をもとに、以下に示すことに取り組んでいきます。

◎学校全体としての今後の取組【現在取り組んでいる内容も含めています】

(1) 学習指導について

○基礎・基本の定着に取り組むとともに、自分の考えを表現する機会を多くとる。

基礎・基本の定着	説明文・読解力対策
◎授業での指導を基に以下の取組を行う。 ○ねっこタイム（月1回）で既習内容を焦点化し、知識の定着を図る。 ○ドリルパーク（AIドリル）を活用しての個別学習を通して、つまずきの確認および学び直しを図る。 ○フォローアップ、ドリル教材等を活用しての反復学習を図る。	◎授業の中での指導を基に、以下の取組を行う。 ○音読の宿題（毎日）を出す。 ○朝の活動での読書を行う。 ○文章問題（国語か算数）や日記等、読み取りや説明を行い、自分の考えが書ける宿題を出す。

- ・岡山型学習指導のスタンダード（授業ファイブ）の遵守
 ①めあて→②自分で考え、表現する→③めあての達成度の確認→④まとめる→⑤振り返り
- ・子ども達が自己調整学習を行うために授業の【動機づけ・学習方略・メタ認知】を進める。
 （学校だより第28号・第29号参照）

- ・研究主題【学びに向かう力の育成～関わり合うことで、考えを広げ深める子どもの育成】に沿った取組を進める。（学校だより第6号参照）
- ・玉小キャリアパワーを活用して、学びを自覚する振り返りを行う。（学校だより第25号参照）

○キャリア教育の取組を進め、自分のめあての達成や学習に対する意欲をもたせる。

- ・学期当初のめあての設定・定期的な振り返りとその改善を行うサイクルを確立する取組を進める。
- ・活動の目的（何のためにするのか）や生活（将来）と学習を結びつける取組（どんな力がつくのか）を進める。（学校だより第5号参照）

○家庭学習の質と量を向上させるために、クロムブックの持ち帰りを含め、自ら学習できる取組を進める。【なお、子ども達の望ましい生活習慣の確立のため、10月よりクロムブックのインターネットに利用制限をかけています。（午後9時～午前6時）この時間はインターネットにつながらないので、計画的に学習に取り組めるようにご支援をお願いします。

※【生活習慣（起床・就寝時間）】を見直し、【学習習慣…家でも勉強する習慣（めやすの時間）】を身につけましょう。
 ※学力の定着は家庭での学習習慣やゲームや動画などのメディアに関わる時間に大きく影響されます。ご協力をお願いいたします。【学習習慣の他に、本や新聞を読む子は正答率が高い傾向、ゲームやSNS・動画視聴の時間が長い子は平均正答率が低い傾向があると言われます。お子さんが自ら時間管理ができるようにアドバイス等をお願いします。】

(2) 生活指導について

○基本的生活習慣の定着を図る。

- ・特別な教科道徳の充実 ・凡事徹底（あいさつ・時間・清掃）を図る。
- ・生命・安全を大切にす指導（講師を招聘し専門的な見地からの指導の充実）

○それぞれの学年での意識を高め、思いやりと秩序のある学校づくりの取組を進める。

- ・学校行事や児童会活動、体験活動での児童主体の取組の充実
- ・自己や集団の責任を自覚し、「やりきる」指導に取り組む。
- ・自己・他者理解ができる指導の充実

※生活習慣についてもご家庭のご協力が必要になりますので、学校と家庭と連絡を取り合いながら、お子様の成長を支援していきたくと思います。